

# 第3学年 国語科学習指導案

日時 令和元年6月19日(水) 5校時

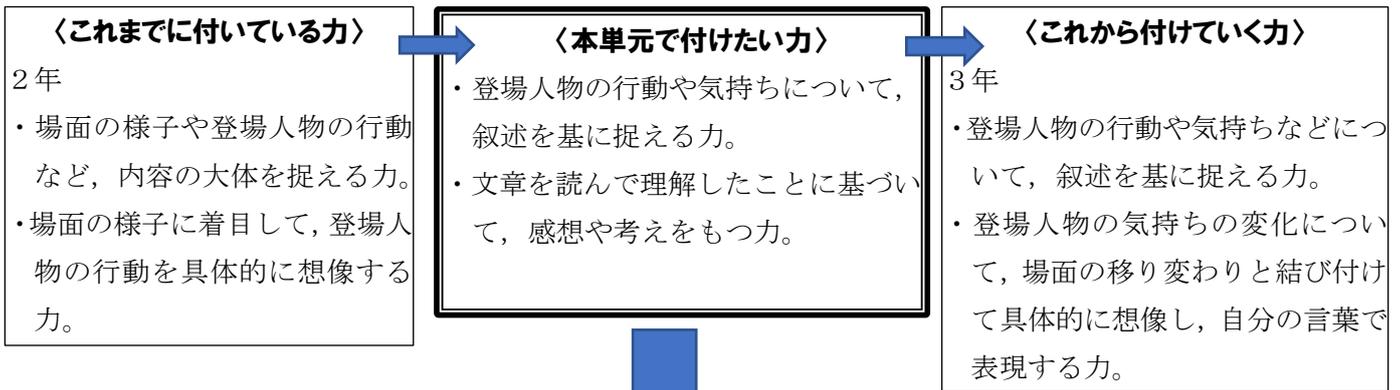
授業者 大谷 彩(3年A組)

## 1 単元名 昔話のおもしろいところをリーフレットで紹介しよう

～叙述を基に思いを表現しよう～

教材名 「三年とうげ」(光村図書3下)

学習の系統と既習事項との確認「読むこと」



## 2 本単元で付けたい力の内容

### 【主体的に学習に取り組む態度】

☆友達と自分の考えを比べて聞きながら、新しい言葉に着目し、言葉がもつよさに気付く力。

☆日本や世界の民話や昔話を楽しんで読み、自分の思いを表現する力。

### 【設定した言語活動】

お話を読んで、面白いと思ったところをリーフレットに書き、紹介する。  
言語活動例 イ詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

### 【知識・技能】

☆読書を通して、新しい世界に触れ、興味を広げ、読書の楽しさを味わう力。

(3) オ 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。

### 【思考・判断・表現】

☆登場人物の気持ちや変化について捉えたことを基に感想や考えをもつ力。

Ｃ読むこと

(1) ○イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

◎オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

### 3 単元について

#### 単元観

○ 本教材は、朝鮮半島に伝わる民話である。この教材は、独特の語り口による楽しいリズムがあり、ちょっとした機転で不幸を幸せに転じたとんち話の側面もある。発想の転換の面白さを楽しく学ぶと同時に、その時代の人たちの生活にも触れることができる。また、ほのぼのとしたタッチで挿絵に描かれている「ため息の出るほど」よい眺めの魅力的な峠に、人々が恐れる言い伝えがあるという場面設定は、読み手を引き付ける。情景描写、言い伝えや歌、人物の性格などをたどりながら、人々のおおらかな生き方を楽しく味わいたい作品である。

また、本教材は、2学期の学習内容ではあるが、内容的にも分かりやすく叙述から中心人物の心情を読み取りやすい上に、リズムカルな歌などが効果的に使われている。話の展開や情景や心情表現なども面白いので、この時期の3年生でもとても楽しく読み深めていけるのではないかと考えて行うことにした。

○ 本単元では、「昔話のおもしろさを味わい、おもしろいと思うところをリーフレットで紹介する」という言語活動を設定した。並行読書で読んだ本について、本の紹介ができるように場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像しながら読み、「あらすじ」と「一番おもしろいと感じたこと」とその理由を短い文に表す活動を行う。また、考えたことを交流することで、感じ方に違いがあることに気付く機会になることを期待している。

#### 児童観

○ 本学級の児童は、2年生で「スイミー」や「ミリーのすてきなぼうし」の学習後、日本の昔話などの絵本を読んで、「おもしろいところ」をクイズで表現する活動を行った。また、「スーホの白い馬」では、外国の昔話を場面の様子や登場人物の行動から気持ちを読み取って音読に表現した。3年生では、「きつつきの商売」を場面の様子を想像しながら楽しく音読した。いずれの活動も、児童はお話の世界に浸りながら楽しく作品を読んでいった。しかし、工夫して読むことの根拠を見つけて話せる児童は少ない。文章から読み取ったことを使って自分の言葉で思いを表現できる力を付けて欲しい。

○ また、児童は、自分の考えを伝えたいという思いは強いが、文章に表現する力には個人差がある。また、好んで読書をするが話の世界に浸るような本よりも短く読みやすいもの、科学的なものを好んで読む児童も多い。そのため、気持ちや様子を表す語彙が少ない傾向にある。そこで、本教材の転んでしまったおじいさんの気持ちの変化を話し合う際、着目した叙述を基に理由を考える。そして、作品の面白さについて考えるときには、「どういうおもしろさなのか」「なぜ、おもしろいのか（どこが）」を表現させることで、読書の面白さに気付き、楽しく話の世界に浸りながら感想をもって本を読むことができるようにしたい。

#### 指導観

○ 第一次では、市民図書館からの『『昔話や民話を借りる人が少ないので、昔話や民話の面白さを土佐市のみんなに紹介してほしい。』という願いに応える為に、お勧めの本のリーフレットを作って図書館にかざろう』と呼び掛け、意欲付けを図る。「三年とうげ」の初発の感想を面白さの内容ごとに、「展開（中心人物の変容）」、「文章上の表現（文章中の言葉や歌等）」等に分類し、これらを中心に詳しく読んでいくことで、感じる面白さが違う人や話を知らない人にもお話を紹介することができるのではないかと投げ掛ける。そこで、教師や昨年3年生が作成したリーフレットを提示し、児童に「お話の面白いところを紹介したリーフレットを作る」というゴールイメージをもたせる。「三年とうげ」での読み方を生かし、世界の昔話や民話の中から選んだ1冊で作ったリーフレットを土佐市立市民図書館に展示するまでの学習の計画を話し合う。さらに、学習意欲や見通しを児童にもたせるために、並行読書の本を読む時間を設け、お話の世界に浸らせる。そこで、自分が紹介したい本を選ぶ時間をつくる。

○ 第二次では、場面分けをした後、場面ごとに簡単に「あらすじまとめ」を行う。その時、登場人物や場面設定についても押さえておく。そして、児童の初発の感想を基にした「おもしろさのひみつ」について、叙述を基に想像して読み、考えを交流しながら、それぞれの面白さが盛り込まれた三年とうげのリーフレットを完成させていく。

○ 第三次では、自分のお勧めの1冊の本についてあらすじと2次で学習したことを基にリーフレットを作成し、土佐市立市民図書館の「おすすめコーナー」に展示する。

#### 4 単元目標

##### 単元の目標

- 登場人物の気持ちや情景などについて、叙述を基にして想像して読むことができる。
- いろいろな昔話や民話を読み、内容を理解し、感想をもつことができる。

#### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現 【C読むこと】	主体的に学習に取り組む態度
・幅広く民話や昔話の読書に親しんでいる。【(3)オ】	・おじいさんの行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。【(1)構造と内容の把握イ】  ・作品を読んで自分の体験と結びつけて自分の感想をもつ。【(1)考えの形成オ】	・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、学習を基に思いを伝え合おうとしている。【(3)オ】

#### 6 指導と単元の計画(全9時間)

		学習内容	評 価				
			知 ・ 技	思 判 表	主	評価規準	評価方法
0次	0	○読み聞かせボランティアや図書担当からの民話や昔話の読み聞かせを聞き、関心を高める。					
第一次	1	○市民図書館の「おすすめコーナーに昔話のリーフレットをかざろう」という活動を設定し、面白いと思ったことをリーフレットに書いて紹介しようという学習の見通しをもつ。 ○「三年とうげ」を読み、初発の感想を書く。 ○初発の感想を基に、面白さを①三年とうげ②歌③言葉④おじいさんの4つに分類する。			○	・面白いと思ったところとその理由を書いている。 ・色々な国の民話や昔話があることを知り、進んで学習にとり組もうとしている。(並行読書)	発言 ノート
	2	○並行読書の本を読み、自分が紹介したい本を選ぶ。			○	・色々な国の民話や昔話を進んで読み、話の面白いところを見つけて紹介したい本を選ぼうとしている。	
第二次	3	○リーフレットに書くための「三年とうげ」のあらすじまとめをする。 ○自分の選んだ作品のあらすじまとめをする。		○		・物語の組み立てについて知り、時、場所、人物に注意してあらすじまとめをして、話のあらましを読み取っている。	発言 ノート

	4	○「三年とうげ」の「おもしろさのひみつ①」（場面設定）について読み取り，感想をもつ。 ○自分の選んだ作品に「おもしろさのひみつ①」の視点があるか考える。		○	・挿絵や情景描写から三年とうげの美しさとその反面にある恐ろしい言い伝えの2面性のある場面設定の面白さへの感想をもっている。	発言 ノート ワーク シート
	5	○「三年とうげ」の「おもしろさのひみつ②」（歌）について読み取り，感想をもつ。 ○自分の選んだ作品に「おもしろさのひみつ②」の視点があるか考える。		○	・地の文のリズムや言い伝えや歌の節回しの独特の楽しさを感じ取り感想をもっている。	発言 ノート ワーク シート
	6	○「三年とうげ」の「おもしろさのひみつ③」（言葉・表現）について読み取り，感想をもつ。 ○自分の選んだ作品に「おもしろさのひみつ③」の視点があるか考える。		○	・民話や昔話の特徴的な言い回しや面白い行動の表現から，様子や気持ちを楽しく読み取り感想をもっている。	発言 ノート ワーク シート
	7 本 時	○「三年とうげ」の「おもしろさのひみつ④」（おじいさん）について読み取り，感想をもつ。 ○自分の選んだ作品に「おもしろさのひみつ④」の視点があるか考える。		○	・おじいさんの気持ちの変容が分かる叙述を探し，それをもとに面白さへの感想をもっている。	発言 ノート ワーク シート
第 三 次	8 9	○紹介したい民話や昔話を選び，内容をまとめる。	○	○	・「三年とうげ」で学習した面白さを見つける視点を生かしてお話を読んでいる。 ・自分が見つけた話の面白さを本文の言葉や文章を使って，理由を付けて紹介する文にまとめている。	リーフ レット

## 7. 本時の指導(7/9)

### (1) 目標

- おじいさんの気持ちの変容が分かる叙述を探し，それをもとに面白さへの感想をもっている。

### (2) 評価規準

#### B 概ね満足できる状況

- ◆おじいさんの変容が分かる叙述を選び，面白さについての思いや理由を付けて表現している。

- ・おじいさんの病気が，トルトリの言ったことで治って元気になったことが面白いです。トルトリはどうしてそんなことを思いついたのか不思議に思いました。
- ・三年しか生きられないと思いこんで病気になっていたおじいさんが，トルトリの言ったことで，とうげをころころ転がって「病気は治った」とにこにこして元気になったところがおじいさんがころっと変わって面白かったです。

## A 十分満足できる状況

◇おじいさんの変容が分かる叙述を選び、その面白さに対しての思いや理由を自分の体験などと結びつけて、表現している。

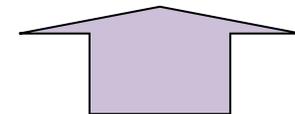
- ・おじいさんの病気が、トルトリの言ったことで治って元気になったことが面白いです。トルトリはどうしてそんなことを思いついたのか不思議に思いました。ぼくだったらそんな風にはすぐに思いつかないからです。
- ・三年しか生きられないと思いきや病気になるまでおじいさんが、トルトリの言ったことで、とうげをころころ転がって「病気は治った」とにこにこして元気になったところが面白かったです。理由は転ばないようにあんなに気を付けて歩いていたのに、トルトリの一言で自分から転ぶようになったからです。自分だったら、そんなに人の言うことで変わらないからです。

### (3) 本時における深い学びとは

場面を比べて、中心人物の気持ちの変化を捉え、感想や考えをもつこと

#### 【主体的な思考を促す発問・指示の工夫】

○4場面と2場面を比較することで、中心人物の気持ちの変化について考えさせる。  
「(おじいさんの気持ちが変わる) おもしろさについて話し合いましたよ。」



#### 【学習形態の工夫】

○ペアや全体などの形態で考えや思いを交流する中で、自分の考えと友達の感じ方の違いに気づかせる。

《軸となる本時の言語活動》  
○考えの根拠を本文から見つけ、互いに自分の考えを伝えあう。  
○感想を交流することで、自分の考えを形成する。

### (4) 展開

	学習活動	○主な発問や指示・児童の姿	◎支援◆評価 (評価方法)
つかむ (5分)	1. 全文を読む。	○今まで話し合ったおもしろさのひみつは何だったかな。 ・歌のリズムのおもしろさ ・表現や言葉のおもしろさ	◎チャイムと同時に、1場面から通読させることで、全体の内容の大体をつかませる。 ◎前時までの学習を振り返り、リーフレット作りのために本時で学習することを確認する。
考える・学び合う (20分)	2. 課題を解決する (1) おじいさんの気持ちの変化が分かる文を見つける。	○初めの感想の時に、おじいさんが面白いと書いていた人がいましたね。 ・おじいさんがけろけろけろとした顔になったのが面白い。 ・おじいさんが自分でころころ転がっているところが面白い。	◎初発の感想を基に、おじいさんの気持ちの変化が分かるところを紹介する。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは転ばないように気をつけていたおじいさんが、山のふもとまで転がったようになったのが面白い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童の発言の中から、おじいさんの変容につながるものを取り上げ、課題に結びつける。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p><b>本時の課題</b> おもしろさのひみつ④（おじいさんの気持ちの変化のおもしろさ）について考えよう</p> </div>		
	(2) 考えを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おじいさんの気持ちが変わっておもしろいと思うところに理由を書きましょう。</li> <li>○おじいさんの気持ちが変わって一番面白いと思うところに名前を貼りましょう。</li> <li>○友達と選んだ理由を伝え合しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童が見付けた文や言葉を出し合い、同じ意見に名前磁石を貼る。</li> <li>◎同じ意見の友だちと交流し、共感したり質問したりする。</li> </ul>
深める (15分)	(3) 全体で話し合う。  (4) 話し合いを基に、おじいさんの気持ちの変化でおもしろいと思うところを理由をつけて書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おじいさんの気持ちが変わったおもしろさを今度はみんなで話しましょう。</li> <li>・私は、「すっかりうれしくなりました」が面白いと思います。おいおいないていたおじいさんが、何回も転がってわらっているからです。</li> <li>・真っ青な顔で、ご飯も食べられなかったのに、トルトリの話を知ったら、布団から飛び起きて、ケロケロけろっとした顔になって転がり落ちているからおもしろいです。単純だなと思いました。</li> <li>○友達の見聞を聞いて、自分が面白いと思ったところをもう一度考えて、その理由をリーフレットに書きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎場面を比較し、本文の叙述（表情・行動・考え方の変化）をもとに自分の考えを発表している発言を認める。</li> <li>◎吹き出しに書いている各自の理由を発表し、同じ叙述でも様々な感じ方があることが聞けるようにする。</li> <li>◎トルトリの考えがきっかけになったことを押さえる。</li> <li>◎「自分だったら、どうする？」などと投げ掛けることで、児童が自分と結びつけた感想をもてるようにする。</li> <li>◆登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に文章を読んで、感想をもっているか。 (リーフレット)</li> </ul>
まとめる (5分)	4. 学習を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の学習の振り返りをしましょう。</li> <li>○自分の選んだ本には登場人物のおもしろさがあるか、見つけて書きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎振り返りのポイント「次の時間から作るリーフレットは、どういうおもしろさを書いて伝えたいか」を確認する。</li> </ul>

## 板書計画

三年とうげ

④おもしろさのひみつ④について考えよう

「登場人物（おじいさん）の気持ちの変化」

「そうじゃないんだよ。」

2場面

トルトリ

4場面

- ・真っ青な顔
- ・けろけろけろっとした顔
- ・おいおいなきました
- ・にこにこわりました
- ・ふとんにもぐりこみ
- ・ふとんからはね起きる

・ふとんからはね起きると

すっかりうれしくなりました。

けろけろけろっとした顔をして

にこにこわりました。

気持ち

トルトリは頭がいいなあと思った。わたしだったら・・・

リーフレットでしようか！

本年度「国語科授業づくり講座」においては、学習指導要領（平成29年3月告示）に示された育成すべき資質・能力の3本柱に基づいた評価の研究を行っており、評価規準についても新しい観点で設定しています。本指導案を本年度中に自校でご活用の際は、平成29年7月7日付け「小学校及び中学校の学習指導要領に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について」（文部科学省 通知）に記載されておりますように、現行の学習指導要領の下の評価規準等に基づいて適切に指導・評価を行うようにしてください。